

あとがき

山梨県総合教育センター
次 長 鈴木 克 志

各学校、各教育機関には、本センターの事業に対しまして御理解と御支援をいただき誠にありがとうございます。また、センター研究においては、山梨大学、山梨県教育庁の各位をはじめ、快く研究の推進にお力添えをいただきました研究協力員と研究協力校の職員の皆様に厚く御礼申し上げます。

センターでは、月一回の研究日を基準に研究を進め、研究計画発表会、研究中間発表会、所内発表会を経て、研究大会、研究紀要編集等により、その成果を広く発表しています。本年度は、一主事一研究とグループ研究を組み合わせた研究体制の中で、学校現場の支援を合言葉に、指導主事が真摯な態度で精力的に取り組んで参りました。手前味噌ながら十分な成果が得られたものと存じております。

2月に行われた研究大会においては、先生方御自身が情報収集をされ、所属校において日々の教育実践にその情報を生かしていただきたいという願いから、昨年度より山梨大学の先生方と本センター指導主事のファシリテーターによるラウンドテーブルを実施しております。今年度は新たにポスター発表の機会を設け、先生方と近距離での双方向の情報交換がなされることを目指しました。本年度の研究大会には、沖縄県や神奈川県などの県外の方々を含めて約260人の皆様の御参加をいただき、盛況のうちに閉幕することができましたことを、改めて感謝申し上げます。

第4次産業革命が始まったと言われる現在、子供たちには、変化の激しいこれからの社会を主体的に生きることができる資質・能力の育成が求められています。その最前線で教育実践に当たられる先生方を支援するために、本センターでは、研修、研究、相談、情報の四本柱で現場支援に努めております。各学校の実情やニーズに応じて、直接赴いて行っている相談支援部や情報教育部の研修会をはじめ、本年度は、策定に携わった教員育成指標をもとに、研修体系をゼロベースから再構築し、来年度の研修会を計画しました。本年度本格実施の「やまなしeラーニング (YeL)」の情報発信同様、本センターのコンテンツデータベースに、研究紀要をアップしましたので、必要な時にいつでも気軽にホームページより御利用ください。今後とも本センターに対しましての一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。